

平成 30 年度
第 1 回 加賀市地域公共交通会議
第 1 回 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日時 平成 30 年 6 月 20 日（水）
午後 2 時から
場所 加賀市市民会館 第 2 会議室

1 開 会

2 新委員紹介

3 議 事

〔【会議】 ⇒地域公共交通会議関連の議事
【協議会】⇒地域公共交通活性化・再生協議会関連の議事〕

資料頁

・ 現在 (H30. 4. 1) の地域交通体系について【会議・協議会】・・・ 1

・ 平成 29 年度 地域公共交通の利用状況について【会議・協議会】・・・ 2

(1) 平成 29 年度 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
事業報告及び歳入歳出決算について【協議会】・・・ 4

(2) 平成 30 年度 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
事業計画及び歳入歳出予算について【協議会】・・・ 10

(3) 「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」(案) について
【協議会】・・・ 12

(4) 地域公共交通の利用促進策(案) について【会議・協議会】・・・ 18

4 閉 会

平成 30 年度

第 1 回 加賀市地域公共交通会議

第 1 回 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

資 料

日時：平成 30 年 6 月 20 日（水） 午後 2 時～

現在の地域交通体系

(地域交通体系「KAGA あんしんネット」)

- 【路線バス 温泉山中線】(—)
- 【路線バス 吉崎線】(—)
- 【路線バス 山代大聖寺線】(—)
- 【路線バス 温泉大聖寺線】(—)

○運行主体：加賀温泉バス株
 ○便数：温泉山中線 42 便 吉崎線 8 便
 山代大聖寺線 11 便 温泉大聖寺線 14 便
 ○経路
 温泉山中線：(栢野)～山中温泉～河南～山代～温泉駅
 吉崎線：塩屋～大聖寺～南郷～温泉駅
 山代大聖寺線：(山中温泉)～山代～上河崎～大聖寺
 温泉大聖寺線：大聖寺～松が丘～温泉駅
 ○運賃：区間運賃制

【のりあい号 (乗合タクシー)】

○運行主体：加賀市
 ○運行エリア：市内全域を3つのエリアと共通エリアに分けて運行
 (エリア①：大聖寺、橋立、塩屋、三木、三谷、南郷
 エリア②：片山津、金明、湖北、作見、動橋、分校
 エリア③：山代、庄、勅使、東谷口、別所、山中温泉、河南、西谷、東谷
 共通エリア：加賀温泉駅周辺、国道8号沿線の一部等)
 ○便数：各エリア 平日：8 便
 (エリア③は2コース) 土日祝：5 便

【路線バス 温泉片山津線】(—)

○運行主体：加賀温泉バス株
 ○便数：10 便
 ○経路：温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～温泉駅
 経路は市内初の一部循環
 ○運賃：区間運賃制

【キャンパス】

○運行企画：(株)まちづくり加賀
 ○経路：海まわり線、山まわり線 (—)
 小松空港線 (—)
 動橋・橋立循環線 (…)
 ○便数：海まわり線、山まわり線 11 便
 小松空港線 5 便 動橋・橋立循環線 3 便
 ○運賃
 ・海まわり線、山まわり線、小松空港線
 1日券 1,000 円 2日券 1,200 円
 11 回回数券 3,000 円
 空港アクセス券 500 円
 ・動橋・橋立循環線
 1回乗車 300 円 8 回回数券 2,000 円
 1ヶ月定期券 4,000 円



平成29年度 地域公共交通の利用状況について

1 路線バス利用実績

(1) 加賀温泉バス

(単位：人)

乗車人数	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度														
	1か月平均	1か月平均	昨年度比	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	1か月平均	昨年度比
温泉山中線	24,460	25,081	102.5%	23,194	92.5%	19,192	22,207	19,330	19,854	23,795	23,908	20,579	22,414	23,407	23,229	21,517	28,136	267,568	22,297	96.1%
温泉片山津線	2,139	2,717	127.0%	3,452	127.1%	3,464	3,948	3,515	3,551	4,190	4,252	3,641	3,950	4,122	4,065	3,822	4,967	47,487	3,957	114.6%
吉崎線	1,235	2,821	228.4%	2,832	100.4%	2,395	3,050	3,585	3,248	4,095	3,932	3,481	3,782	2,913	3,623	3,379	3,982	41,465	3,455	122.0%
山代大聖寺線	4,816	3,578	74.3%	3,293	92.0%	2,405	3,154	2,757	2,404	3,036	2,954	2,566	2,749	2,177	2,623	2,436	3,110	32,371	2,698	81.9%
温泉大聖寺線	737	1,881		2,387	126.9%	1,754	2,055	1,824	1,858	2,199	2,170	1,980	2,107	2,116	2,257	1,990	2,531	24,841	2,070	86.7%
合計	33,387	36,079	108.1%	35,159	97.5%	29,210	34,414	31,011	30,915	37,315	37,216	32,247	35,002	34,735	35,797	33,144	42,726	413,732	34,478	98.1%

※ 昨年度比は、各年度の1か月平均を比較。

※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

※ 温泉大聖寺線は、平成27年3月14日運行開始。

○ 平成27年3月より、「温泉大聖寺線」の新設及び「温泉片山津線」、「吉崎線」の延伸を行った。また、「吉崎線」については、同じく平成27年3月より土・日曜・祝日の運行を開始した。

○ 平成28年4月より、加賀市医療センターの開院に伴い、「温泉山中線」、「温泉片山津線」、「吉崎線」、「温泉大聖寺線」について医療センターへの乗り入れを開始した。

○ 平成29年4月より、利用が増えている「温泉片山津線」を増便し、また「温泉大聖寺線」の利用が少ない時間帯の便を減便した。

○ 今年度は、「温泉片山津線」に「湯の谷橋」停留所を、また「吉崎線」に「黒瀬」停留所、「黒瀬西」停留所及び「保賀西」停留所を設置した。

(2) キャンパス動橋・橋立循環線

(単位：人)

乗車人数	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度														
	1か月平均	1か月平均	昨年度比	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	1か月平均	昨年度比
7:10発		69		145	210.1%	335	406	427	290	160	369	395	406	364	401	265	286	4,104	342	235.9%
12:20発 (~H29.3)		36		46	127.8%															
17:05発		37		50	135.1%	98	108	113	77	83	43	61	87	96	106	56	70	998	83	166.0%
18:45発 (H29.4~)						65	65	91	80	42	112	98	94	66	46	20	38	817	68	
合計		143		240	167.8%	498	579	631	447	285	524	554	587	526	553	341	394	5,919	493	205.4%

※ 昨年度比は、各年度の1か月平均を比較。

※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

○ 平成28年4月より、加賀市医療センターの開院に伴い、医療センターへの乗り入れを開始した。

○ 平成29年4月より、通学利用に特化した運行とするため、利用が少ない12:20発便を廃止し、18:45発便を新設した。また、大聖寺実業高校への乗り入れを開始した。

○ 今年度は、日曜・祝日の運行を取り止めた。

2 乗合タクシー利用実績

(単位：人)

乗車人数		平成26年度	平成27年度 (H27. 10月～)	平成28年度		平成29年度															
		1か月平均	1か月平均	昨年度比	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	1か月平均	昨年度比
エリア①	行き		124		229	184.7%	229	237	233	255	226	261	240	248	251	206	181	234	2,801	233	101.7%
	帰り		74		214	289.2%	197	197	235	227	223	235	242	249	259	229	208	261	2,762	230	107.5%
	計		199		444	223.1%	426	434	468	482	449	496	482	497	510	435	389	495	5,563	464	104.5%
エリア②	行き		14		35	250.0%	77	116	130	128	110	111	128	131	135	103	86	123	1,378	115	328.6%
	帰り		12		40	333.3%	74	126	144	131	112	121	122	142	143	106	98	138	1,457	121	302.5%
	計		26		75	288.5%	151	242	274	259	222	232	250	273	278	209	184	261	2,835	236	314.7%
エリア③	行き		38		175	460.5%	166	225	240	252	203	199	223	213	252	263	274	288	2,798	233	133.1%
	帰り		33		178	539.4%	159	208	191	195	183	197	200	184	234	240	287	238	2,516	210	118.0%
	計		71		353	497.2%	325	433	431	447	386	396	423	397	486	503	561	526	5,314	443	125.5%
合計	行き		176		440	250.0%	472	578	603	635	539	571	591	592	638	572	541	645	6,977	581	132.0%
	帰り		119		432	363.0%	430	531	570	553	518	553	564	575	636	575	593	637	6,735	561	129.9%
	計		295		872	295.6%	902	1,109	1,173	1,188	1,057	1,124	1,155	1,167	1,274	1,147	1,134	1,282	13,712	1,143	131.1%

※ 昨年度比は、各年度の1か月平均を比較。

※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

- 平成27年10月より、市内全域で運行を開始した。
- 運行開始時より利便性向上のため、継続的に運行ダイヤや共通エリアの範囲、各町停留地点の見直しなどを行っている。
- 運行内容の見直しや周知活動などにより、運行開始時より利用は増加傾向にある。
- 今年度は、共通エリアの拡大や乗車券の見直し、土日祝ダイヤの増便などを行った。

【参考】

- ※ 各エリアに含まれる地区
 エリア① 大聖寺、橋立、三木、三谷、南郷、塩屋
 エリア② 片山津、作見、金明、湖北、動橋、分校
 エリア③ 山代、別所、庄、勅使、東谷口、山中温泉、河南、西谷、東谷

- ※ 「行き」：各地区から加賀温泉駅へ向かう便
 「帰り」：加賀温泉駅から各地区へ向かう便

【共通エリアの拡大について】

(変更前)



(変更後)



【乗車券の見直しについて】

	販売価格	平成29年度	平成30年度	備考
1回券	500円		継続	—
2回券	1,000円		継続	—
7回券	3,000円	—	新規	1回分お得
11回券	5,000円		廃止	1回分お得
12回券	5,000円	—	新規	2回分お得

議事（1）

平成 29 年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業報告及び歳入歳出決算について

平成 29 年度事業報告

事業名	概要
1 バス教室実施	<p>(1)「路線バスふれあい体験教室」 庄小学校の児童を対象に、加賀温泉バス(株)の社員が路線バスの乗り方や車内でのマナー、車両の仕組みなどを説明し、路線バスに乗車する楽しさを感じてもらい、また身近な移動手段の一つとして知ってもらうことで、今後の利用に繋げることを目的とした。 ・実施日：平成 29 年 7 月 5 日（水） ・対 象：庄小学校 3 年生（18 名）</p> <p>(2)「路線バスふれあい体験教室～バスに乗って出かけよう!!～」 同じく庄小学校の児童を対象に、上記で学んだことを活かし、実際に運行している路線バスへの乗車や運賃の支払いを体験してもらった。路線バスを利用する際の不安感を取り除くことで、今後の利用に繋げることを目的とした。 ・実施日：平成 29 年 10 月 13 日（金） ・対 象：庄小学校 3 年生（18 名）</p> <p>（事業費 52,272 円（2 事業計））</p> <p style="text-align: right;">【参考写真：6、7 ページ】</p>
2 バス停ベンチ整備	<p>バス停にベンチを設置し、利用者の待合環境を向上させることで、路線バスの利用促進を図った。 ・設置場所：加賀温泉駅バスターミナル（ベンチ 2 基） （事業費 216,940 円）</p> <p style="text-align: right;">【参考写真：8 ページ】</p>
3 乗合タクシー利用促進事業	<p>老朽化した乗合タクシーの車両マグネットシールの更新や、昨年度に作成したポスター・チラシの配布などを行い、乗合タクシーの利用促進を図った。 （事業費 292,141 円）</p>
4 公共交通利用促進パンフレット作成	<p>路線バスや乗合タクシーの運行経路やダイヤなどを掲載したパンフレット「加賀市の公共交通ご利用ガイド」を作成し、市内の全世帯や 3 高校などに配布をして利用促進を図った。 （事業費 1,085,940 円）</p>
事業費計	1, 6 4 7, 2 9 3 円

平成 29 年度歳入歳出決算

(歳 入)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
1 繰越金	270,791	前年度繰越金
繰越金	270,791	
2 負担金	882,000	加賀市負担金 824,000 加賀温泉バス負担金(バス停ベンチ整備) 58,000
負担金	882,000	
3 補助金	624,000	石川県補助金
補助金	624,000	
4 諸収入	1	預金利子
諸収入	1	
歳入計	1,776,792	

(歳 出)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
1 事業費	1,647,293	バス教室実施費 52,272 バス停ベンチ整備費 216,940 乗合タクシー利用促進事業費 292,141 公共交通利用促進パンフレット作成費 1,085,940
事業費	1,647,293	
2 予備費	0	
予備費	0	
歳出計	1,647,293	

歳入決算額 1,776,792 円－歳出決算額 1,647,293 円＝差引残額 129,499 円

差引残額 129,499 円は翌年度に繰り越す。

平成29年度 「路線バスふれあい体験教室」の実施について

平成29年7月5日（水）に庄小学校の3年生（18名）を対象に「路線バスふれあい体験教室」（加賀市地域公共交通活性化・再生協議会事業）を実施しました。当日は、加賀温泉バスの社員の方から路線バスの乗り方などについて説明していただきました。



加賀温泉バスの社員 2 名が講師を務めました。



バスに乗車し、加賀温泉バス社屋へ行きました。



社屋までの道中では、車内でのマナーや降車ボタンなどについて教わりました。



社屋に到着後、車イスでの乗車を体験しました。



最後に、バス車内の仕組みについて教わりました。

平成29年度「路線バスふれあい体験教室～バスに乗って出かけよう!!～」 の実施について

平成29年10月13日（金）に庄小学校の3年生（18名）を対象に「路線バスふれあい体験教室～バスに乗って出かけよう!!～」(加賀市地域公共交通活性化・再生協議会事業)を実施しました。当日は、7月の教室で学んだことを活かして、実際に路線バスに乗り身近にあるお店へ出かけました。



整理券を取り、バスに乗車しました。



バス車内では運賃表の見方や小人運賃、
両替の仕方について、学びました。



運賃箱に整理券とお金を入れて、降車し
ました。



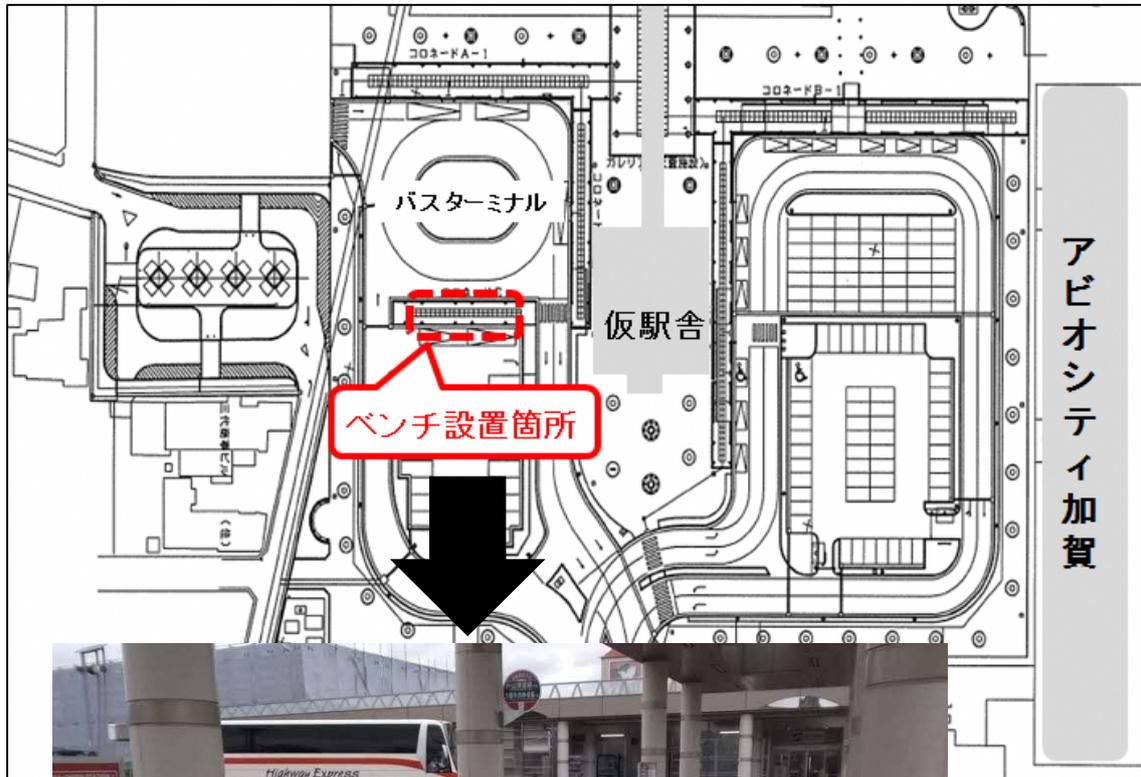
加茂南バス停から、マルエー加茂店へ行
きました。



帰りも加茂南バス停から乗車して、学校
へ帰りました。

加賀温泉駅バスターミナルベンチ設置について

加賀温泉駅バスターミナルにベンチを設置することで、路線バス利用者の待合環境を向上させ、路線バスの利用促進を図りました。



監 査 書

加賀市地域公共交通活性化・再生協議会の平成29年度における歳入歳出に係る会計諸帳簿について、厳正に監査した結果、その内容は適正なものと認める。

平成30年 5 月 11 日

監 事 加賀市会計管理者

出口千恵子  印

議事（２）

平成 30 年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業計画及び歳入歳出予算について

平成 30 年度事業計画

（単位：千円）

事業名	予算額	概要
1 バス教室実施	104	河南小学校の児童を対象に、路線バスの乗り方や車内でのマナーを学び、また、実際に路線バスを利用して身近なお店へ出かける体験教室を実施する。 （第 1 回目は実施済み。）
2 公共交通利用促進パンフレット作成	1,253	市内の公共交通の運行経路やダイヤなどを掲載したパンフレットを作成し、全世帯や高校などに配付する。
3 ホーム照明 LED 化工事	540	山中温泉バスターミナルホームの照明を LED に整備する。
事業費計	1,897	

平成 30 年度歳入歳出予算

(歳 入)

(単位：千円)

科目	予算額	摘要
1 負担金	1,084	
負担金	1,084	加賀市負担金 939 加賀温泉バス負担金 145 (ホーム照明 LED 化工事)
2 補助金	798	
補助金	798	石川県補助金
3 諸収入	1	
諸収入	1	預金利子
4 前年度繰越金	129	
前年度繰越金	129	
歳入計	2,012	

(歳 出)

(単位：千円)

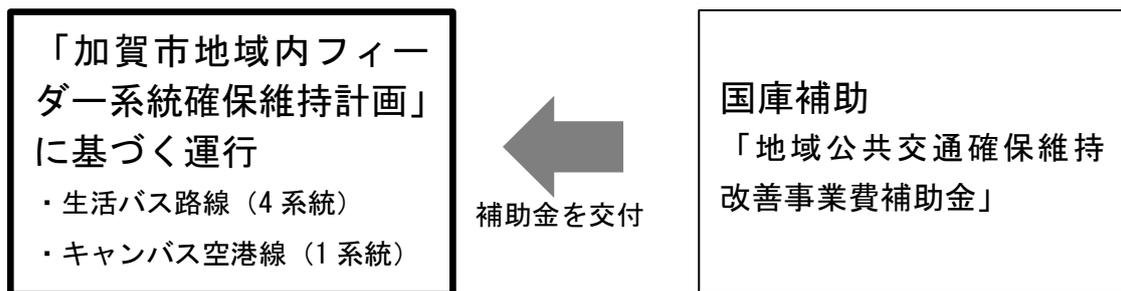
科目	予算額	摘要
1 事業費	1,897	
事業費	1,897	バス教室実施費 104 公共交通利用促進パンフレット作成費 1,253 ホーム照明 LED 化工事費 540
2 予備費	115	
予備費	115	
歳出計	2,012	

議事（3）

「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」（案）について

国庫補助制度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」の第2条第1項第1号及び第2号で定める「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」を次のとおり定める。

上記「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の図



補助金の交付先は、補助対象路線を運行する乗合バス事業者となる。

加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画

平成30年6月 日

(名称) 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
会長 近藤 修司

※下線部は昨年度からの主な変更箇所。

生活交通確保維持改善計画の名称

加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画(平成31(2019)年度～33(2021)年度)

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

加賀市においては、人口集中地域や病院・商業施設・学校等の生活関連施設が「多核分散」的に分布する中、JR北陸本線が3つの駅を置いて東西に横断し、また、生活路線バスが5路線で運行されている。

平成28年4月の加賀温泉駅前での統合新病院(現 加賀市医療センター)開院に向けて、平成25年より市内の交通体系を見直し、新たな地域交通体系「KAGAあんしんネット」の構築を進めてきた。「KAGAあんしんネット」では、車を運転できない高齢者等の移動手段を確保するため、「幹線ネットワーク」としての生活路線バス及びJRの充実、「面的ネットワーク」としての乗合タクシーの運行、この2本柱で市内の交通体系を整えることとし、本計画は平成28年4月に完成した。

本市の公共交通については、市の玄関口となっている加賀温泉駅と山代・片山津・山中の3つの温泉地区を生活路線バス「温泉山中線(地域間幹線)」、「温泉片山津線(地域内フィーダー系統)」が結んでいる。平成27年3月には、「KAGAあんしんネット」に定める「幹線ネットワーク」の充実として、統合新病院への通院対応のため、「温泉大聖寺線(地域内フィーダー系統)」の新設と「吉崎線(地域内フィーダー系統)」の延伸を行った。官公庁施設や高校がある大聖寺地区へは「山代大聖寺線(地域内フィーダー系統)」も運行している。

キャンバスは、「海まわり線」、「山まわり線」に加えて平成27年4月から「動橋・橋立循環線」を運行し、また、「空港線(地域内フィーダー系統)」が小松空港と片山津温泉・加賀温泉駅を結び、地域住民の貴重な移動手段となっていることに加え、観光振興においても効果があるものとなっている。

さらには、「KAGAあんしんネット」に定める「面的ネットワーク」として、平成27年10月からは、市が実施主体となる「加賀市乗合タクシー」の実証運行を、平成28年4月からは本格運行を市内全域で開始し、生活バス路線やキャンバスの路線から離れている空白域を解消し、市内いずれの地域においても公共交通による移動手段を確保した。

これらの公共交通は、車を運転できない高齢者の通院・買い物や、中・高校生の通学等において必要不可欠な交通として機能しているほか、住民が顔を合わせる機会ともなってコミュニティの発展にも寄与していることから、確保・維持していくことは重要である。

しかし、これらの公共交通は人口減少と自家用車の普及により利用者が大きく減少する中、生活路線バスでは収支の悪化から事業者にとってその維持が困難な状況となっている。このため、市民にとって日常生活で必要な移動が可能な、安心・快適な生活環境を確保するため、地域公共交通確保維持事業により生活バス路線、乗合タクシー等の公共交通を確保・維持していくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

1便あたりの乗車人数を次のとおりとする。

- 温泉山中線（1日42便） 17人（旧 19人）
- 温泉片山津線（1日10便） 13人（旧 12人）
- 山代大聖寺線（1日11便） 12人（旧 14人）
- 温泉大聖寺線（1日14便） 4人（旧 3人）
- 吉崎線（1日8便） 13人（旧 12人）
- キャンバス「空港線」（1日5便） 3人（旧 5人）

※昨年度の実績に応じて、目標人数を変更。

加賀市乗合タクシー（1日8便×3エリア）5人

(2) 事業の効果

生活路線バスでは、地域間幹線としての「温泉山中線」、地域内フィーダー系統としての「温泉片山津線」、「山代大聖寺線」、「吉崎線」及び「温泉大聖寺線」を維持することにより、3温泉地区及び大聖寺・塩屋・作見地区における高齢者、中・高校生等の日常生活並びに来訪者の観光等での移動手段が確保される。

キャンバス「動橋・橋立循環線」及び「空港線」の運行により、地域住民の日常生活における移動の利便性向上が図られる。

「加賀市乗合タクシー」では、生活バス路線から離れている地域の高齢者等の移動手段が確保される。

これらの交通手段が結節することにより、効果的かつ効率的な地域交通体系を実現できるとともに、更には、人の流れが活発になることによる地域活性化の効果も生まれる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

(1) バス教室実施（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

小学校の児童を対象に路線バスの大切さ、乗り方、車内でのマナー等を説明し、また、実際に運行している路線バスへの乗車を体験することで、路線バスに愛着を持ってもらい、将来的な利用に繋げる。

(2) 公共交通利用促進パンフレット作成（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

市内の公共交通の運行経路やダイヤ等を掲載したパンフレットを作成し、市内の世帯や高校に配付し利用促進を図る。

(3) ホーム照明LED化工事（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

バスターミナルホームの照明をLEDに整備する。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者

(1) 運行システムの概要及び運行予定者 表1のとおり

(2) 運行予定期間（国補助対象の期間）

平成31(2019)年度：平成30(2018)年10月1日から平成31(2019)年9月30日まで

平成32(2020)年度：平成31(2019)年10月1日から平成32(2020)年9月30日まで

平成33(2021)年度：平成32(2020)年10月1日から平成33(2021)年9月30日まで

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者	
<p>加賀温泉バス株式会社が運行する系統（4 系統）については、「補助対象期間中の運行実績による平均乗車密度×補助対象期間中の片道運行回数×300 円」又は「補助対象経常費用－運送収入、運送雑収入及び営業外収益」の額から国庫及び県補助金を差し引いた差額分を市が負担している。</p> <p>日本海観光バス株式会社が運行する系統（1 系統）については、「経常費用－経常収益」の額から国庫補助金を差し引いた差額分を運行企画事業者が負担している。</p>	
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称	
<ul style="list-style-type: none"> ・加賀温泉バス株式会社 ・日本海観光バス株式会社 	
7. 外客来訪促進計画との整合性	
該当なし	
8. 協議会の開催状況と主な議論	
<p>平成 30 年 6 月 20 日開催（平成 30 年度第 1 回）</p> <p>事業内容及び地域内フィーダー系統確保維持計画等について協議</p>	
9. 利用者等の意見の反映状況	
<p>▶ 平成 25 年から平成 28 年まで、統合新病院開院に向けて、市民の意見等を聞きながら市内の公共交通を見直し、新地域交通体系「K A G A あんしんネット」の構築を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの充実 ・乗合タクシーの運行 <p>▶ 地域公共交通利用者等の意見を反映し、路線バスのダイヤや便数について調整した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校では夏季と冬季でクラブ活動の終了時刻が異なることから、それぞれの時刻に合わせたダイヤの要望があり、吉崎線の夏季と冬季の最終便のダイヤを調整した。 ・吉崎線の一部の便を黒瀬町と保賀町経由に変更した。 ・温泉片山津線に午前 1 便、夜 1 便を追加した。 ・温泉片山津線に「湯の谷橋」停留所を新設した。 ・高校生の通学利便性向上のため、大聖寺実業高校前にキャンパス動橋・橋立循環線のバス停を新設した。 ・乗合タクシーの土日祝ダイヤにおける便の追加や共通エリアの拡大をした。 <p>▶ 地域公共交通利用者等の意見を反映した利用促進事業に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象としたバス教室の実施 ・公共交通利用促進パンフレットの作成及び配布 	
10. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課
関係市区町村	加賀市総務部企画課
交通事業者・交通施設管理者等	加賀温泉バス(株)、加賀第一交通(株)、(株)まちづくり加賀、全国自動車交通労働組合連合会石川ハイタク連合会
地方運輸局	北陸信越運輸局石川運輸支局
その他協議会が必要と認める者	学識経験者、石川県大聖寺警察署、加賀市区長会連合会、加賀市老人クラブ連合会、加賀市身体障害者福祉協会、加賀市観光交流機構、加賀市校長会、利用者代表等

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

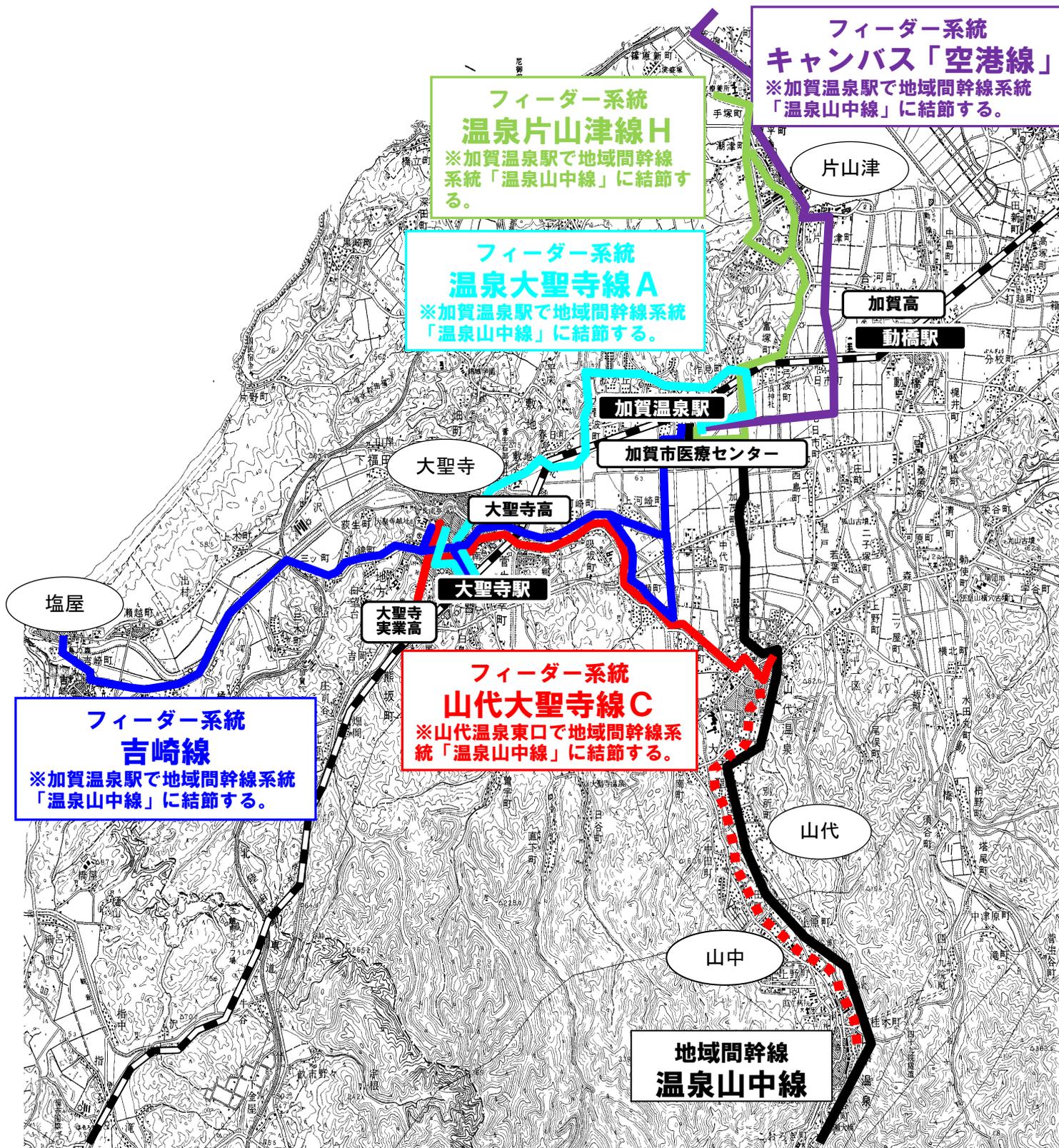
31年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該 当する要件 (別表7のみ)
加賀市	加賀温泉バス(株)	(1) 温泉片山津線H	加賀温泉駅	石川病院	加賀温泉駅	往 13.4km 「循環」	365日	3,650.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
		(2) 山代大聖寺線C	山代温泉東口	上河崎	大聖寺駅前	往 6.4km 復 6.4km	241日	361.5回		路線定期運行	①	山代温泉東口で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
		(3) 温泉大聖寺線A	加賀温泉駅	大聖寺駅前	かが交流プラザ さくら	往 9.6km 復 9.6km	365日	2,555.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
		(4) 吉崎線	加賀温泉駅	大聖寺駅前	塩屋	往 14.0km 復 14.0km	365日	1,460.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
	日本海観光バス(株)	(5) キャンバス「空港線」	加賀温泉駅	片山津温泉	小松空港	往 17.2km 復 17.2km	365日	1,825.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

加賀市地域内フィーダー系統説明図



【地域間幹線】

- ・平成 13 年 3 月 31 日時点で複数の自治体間（旧加賀市、旧山中町）をまたぐ路線をいう。
- ・加賀市の場合、旧加賀市と旧山中町をまたぐ路線である「温泉山中線」が地域間幹線に認定されている。

【フィーダー系統】

- ・地域間幹線「温泉山中線」に結節する枝系統をフィーダー系統という。

議事（４）

地域公共交通の利用促進策（案）について

1 金沢学院大学との連携事業について

加賀市が包括連携協定を締結している金沢学院大学と連携して、地域公共交通の利用促進となる事業を実施する。具体的な事業内容については、今後、担当教員及び学生と実施に向けた検討を進める。

2 「キャンパス動橋・橋立循環線」の湖北地区への乗り入れについて

前回会議で提案したとおり、「キャンパス動橋・橋立循環線」の利用者には、湖北地区在住の高校生が一定数いることから、湖北地区への乗り入れに向けて、運行経路や停留所の設置場所等について、市、(株)まちづくり加賀、地元区長会との協議を進める。

【現状】

町名	大聖寺方面の 高校へ通う 高校生数	現在の通学手段	乗り入れた場合の利用の可能性
伊切町	3名	・保護者による送迎	・時間帯が合えば利用する。
新保町	8名	・保護者による送迎多数 ・自転車	・時間帯が合えば利用する。 ・全世帯を対象にしたアンケート調査では、半数が利用してみたいという結果であった。
柴山町	16名	・保護者による送迎多数 ・自転車 ・キャンパス利用2名	・時間帯が合えば利用する。
一白町	3名	・保護者による送迎	・時間帯が合えば利用する。
源平町	0名	—	—
手塚町	—	—	—

(平成30年4月1日現在、湖北地区区長会調べ)

- 3 「のりあい号（乗合タクシー）」への配車システムの導入検討について
予約に応じて自動的に車両を配車することができ、また、利用者がスマートフォンアプリ上で、車両の所在地の確認や乗車予約をすることができる配車システムの導入に向けて、検討を進める。
- 4 「のりあい号」利用者の会の開催について
平成28年度より実施している「のりあい号」利用者の会を、今年度も引き続き開催することで、利用者からの意見などを集約し、来年度に向けた運行内容の見直しに活かす。
- 5 高齢者の運転免許証自主返納支援への取り組みについて
現在、運転免許証を自主返納した高齢者へ、「のりあい号」の乗車券2回分を配布している。また、特典として、「のりあい号」の回数券を選択することができ、今年度より回数券の枚数を11枚から12枚にした。
今後は、より一層、運転免許証自主返納支援制度について周知を図り、高齢者の運転免許証自主返納に繋げる。
- 6 「のりあい号」おでかけ相談会の開催について
平成27年度より実施している「のりあい号」おでかけ相談会を、今年度も引き続き開催し、高齢者が集まる場へ出向き、利用方法の説明や便の選び方などの相談に応じることで、のりあい号の周知や利用促進に繋げる。